

「音楽を通じた考古学の魅力創造協定書」の締結について (報道発表資料より)

このたび、奈良県立橿原考古学研究所と公益財団法人関西フィルハーモニー管弦楽団（理事長：井上礼之）は、音楽を通じて、考古学の新たな魅力を創造し、考古学・古代史ファンの裾野を広げることを目的に「音楽を通じた考古学の魅力創造協定」を締結することとなりました。

【協定締結の経緯】

令和3年11月の附属博物館リニューアルオープンにあたり、新たにイメージ曲「瑞山の風～たまゆら」を制作しました。その作曲を作曲家 林そよか氏に依頼する過程で、また楽曲演奏者を選定するにあたって、関西フィルハーモニー管弦楽団首席指揮者の藤岡幸夫氏、同専務理事の浜橋元氏をはじめ、楽団関係者に相談し、協力を頂きました。

リニューアルオープン後の附属博物館は、集客増が大きな課題です。考古学への関心を高め、博物館への一層の誘客を図るには、これまでの来館者に重なる従来の考古学・古代史ファン以外にも広く訴求する‘考古学・古代史ファンの裾野を広げる’新たな取り組みが求められます。その一環としてコンサートの開催など、音楽を通じた魅力ある取り組みを関西フィルハーモニー管弦楽団との協力のなかで進めていくこととなりました。

【協定の内容とねらい】

1. 音楽を通じて、考古学の新たな魅力を創造し、考古学・古代史ファンの裾野を広げることで、奈良県立橿原考古学研究所附属博物館への誘客をはかります。
2. コンサートは、奈良県立橿原考古学研究所附属博物館が主催し、関西フィルハーモニー管弦楽団が出演する楽団員を選定・派遣して開催します。これにより、一流のプロの演奏家による上質なコンサートの開催が可能となります。
3. コンサートへの参加による新たな来館者には、博物館の展示・展覧会、考古学への魅力を実感してもらおうきっかけとしていただく。
4. 従来からの来館者には、博物館における新たな楽しみを提案します。

【第1回コンサートについて】

日時：令和4年11月12日（土） 14:00～（開場 13:30～）約1時間

会場：奈良県立橿原考古学研究所附属博物館 みずやま 瑞山ホール

出演：関西フィルハーモニー管弦楽団メンバー

料金：入場無料

募集：往復はがきによる事前申込を予定。

※詳細は追って附属博物館ホームページなどで発表します。